

# PFS is...

2024  
September  
VOL.10★

すべては一人ひとりの未来のために



## PICK UP

PFS 10周年記念号



一般社団法人 愛知PFS協会  
<https://www.aichi-pfs.org/>

お問い合わせはこちらから 平日：10:00~19:00

☎ **052-228-0280**

〒460-0011 名古屋市中区大須1-21-35





# PFS 10

3

《チルに関わった印象》  
通りすがりの人だけではなく、「人と話したい」という思いをもって参加してくれる方が思ったよりも多いという印象でした。初めて会うスタッフと話していく中で自分の悩みを打ち明けてくれる子もいて、オープンスペースだからこそ開放的で話しやすい空気感がでるのかなと感じました。

今年度は若者の披露の場としても様々なイベントを予定しています。若者世代が自己表現できる場として、過ごしやすい環境づくりにつながることを期待しています。私たちスタッフ側がつくる居場所ではなく、チルの場にいる人々が創り上げるスペース（居場所）として機能していったらいいなと思っています。



若者の居場所づくり  
#栄でチルする？ 3年目  
早川 茉優希

1

＜(社)愛知PFS協会活動理念＞  
すべては  
一人ひとりの未来のために

誰もが自分の未来のために歩いていける社会を、いろいろな人との関わりの中で創り上げていってほしい。そのために、ひとりひとりと向き合い、歩いていく。  
一般社団法人愛知PFS協会は、「ひとりひとりの未来へのサポート(Personal Future Support)」を活動の中心に置いています。思春期・学齢期の不登校、ひきこもり、非行、自他傷、いじめ、貧困など多様な社会課題と向き合ってきました。今後も、ひとりひとりの子どもたちが明るい未来を描けるよう、子ども本人、ご家族を中心に地域の方、他支援機関など、子どもたちに携わるすべての方と共に、活動を続けて参ります。

協会理事  
大山 娃里

2

名古屋みらい高等学院を  
卒業して2年（現：中和医療専門学校3年生）

R・Mさん

《入学までの経緯》中学卒業後、金銭的な理由で入学直前に進学を断念。その時は「自分の人生はここで終わった」と思いました。紆余曲折あり、区役所の方からの紹介で「名古屋みらい高等学院」を知り、編入学。  
《名古屋みらい高等学院での学校生活》入学後は担任の先生と二人三脚の学校生活。思いの他時間があり、遊びもアルバイトも思いっきり。先生はいろいろなことで助けてくれて、「一人ですらうとしない」、「やるべきことは、ちゃんとやる。そうすれば目標は達成できる」ということを教えてくれました。

《これからのPFSへ卒業生としてメッセージ》  
月日がたっても、全然変わらないPFSにホッとします。自分の事情を分かってくれて二人三脚で寄り添ってもらえたことがすごく嬉しかった。これからも色々な子が入学すると思いますが、どんな子でも寄り添ってくれるようなPFSであり続けて欲しいです。





ひとり親家庭の  
子どもの居場所づくり  
あしタネ。9年目  
深谷さん

初年度から関わってくれている  
サポーターさんにお話を聞きました!

### 歴代のあしタネ。の イベントTOP3!



- 1位 カラオケ大会
- 2位 ビンゴ
- 3位 調理イベント

あしタネ。も間もなく10thですが、年数がたっても変わらないなあと感じることは?  
あしタネ。は何年たっても変わらないことの方が多気がします。(雰囲気、取り組み...  
など) 変わらない場所こそがあしタネ。なんだと思っています◎

あしタネ。を利用したいと思っている子どもたちにメッセージを  
あしタネ。の会場をぜひ見に来てもらいたいです! 来たいとき  
だけ行くのかな、そんなゆる〜い気持ちで全然OK  
なので、みんなで待っています◎

そして  
10年目!

## (2024/08/24) PFS10周年感謝祭を開催しました!

地域の皆さまをはじめ、卒業生、  
支援機関の方等にこれまでの感謝の気持ち  
を伝えるために、「PFS10周年感謝祭」を開催  
し200名近い方にご来場いただきました。オープニ  
ングセレモニーの菓子まきから始まり、みらい高等学院の  
生徒によるカフェ、アフタースクールPFSによる縁日、名古屋  
市中消防署の方による地震体験車等、様々な催しを行い  
ました。また、地域にお住いの方によるボランティアや、  
中区の子ども食堂の方(おいまつ地域食堂様、おばちゃん  
食堂様)等、多くのご協力をいただき、イベントを通じて  
地域間の繋がりを深めることができました。改めて  
皆さまとのご縁を大切に、「すべては一人  
ひとりの未来のために」精進して  
まいります!



8

若者自立支援  
ステップアップ  
みらie。8年目  
大澤 祐斗



《みらieについて教えてください》

みらieには不登校・引きこもり・家庭環境に悩み  
があったりと、様々な事情を抱えた方が来所しており、  
今の場所から一歩でも踏み出し「そこから動き始めること」  
を大事にしています。日々のプログラムやコミュニケーションを通し  
て、ご家庭以外の場所で気持ちを楽に過ごすこと、何気ないことで笑い  
あうこと、そんなことを通してステップアップすることを目指しています。

《みらieをこんな場所にしていきたい!という目標を教えてください》  
自立に向けて、「スタート地点」としての機能を高めていきたいと思ってい  
ます。一度立ち止まり、スタッフや仲間と一緒に、「これからの自分の人生を  
見つけるためのスタート地点」。いろいろな経験を通して、誰かから言わ  
れる人生ではなく、自分から「やってみようかな」という気持ちを醸成  
していく、そんな場所にしていきたいです。そして、ご本人はもちろん  
、保護者の方が子どもの為に「何かしてあげたい」という  
ような気持ちにも寄り添い、手助けできるような  
体制を強化していきたいと考えています。

9

7

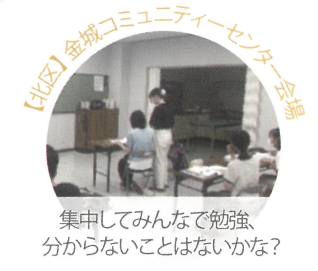
よりそい訪問サポートなごや7年目  
田中 陽之介



よりそいの発足当時はまるで  
巨大なプラモデルを作っているようで  
楽しかったです。しかし、他社で事業として行って  
いる所が皆無だった点に大変苦労しました。  
活動の中で、始めはひきこもって暗い部屋の隅でじつ  
とずくまっていたような子が、訪問によって徐々に心を  
開き、のちにみらい高校に元気に通うようになり、友達を  
作り、無事に卒業しさらに就職が決まったと本人から  
聞いた時には、自分の事のように嬉しかったです。  
この先、本活動が名古屋から全国に広がっていき、  
1件でも上記のような事案が増え、1件でも  
悲惨な事件が減る事を祈るばかり  
です。

PFS学習会 6会場

6



### 「居場所」×「学びの場」

PFSの学習会は、  
勉強はもちろん、子どもたちがホッと過ごせ、  
様々なことを体験できる場所づくりを重視しています。



4

よりそい訪問サポートなごやスタッフ兼  
日本福祉大学通信教育4年生

井口 泰雄



私はPFSに入社する前、12年  
間現場で工事監督をしていました。  
大学に通うと決心したきっかけは、福祉業界に  
転職して痛感したこの職種での知識経験の不足です。  
働きながらの勉強はかなり困難な道でした。ですが、  
持ち前の元気とやる気、周りのサポートが力となり今年  
4年生を迎え、卒業単位確定、社会福祉士国家試験受験  
資格を得ることができました。振り返ってみると大変  
と思う以上に素敵な経験が思い出として蘇ります。  
スクーリングで出会った新たな仲間もそうです。  
得た知識、経験、仲間と共に、これからも  
精進していきたいです!

5

アフタースクールPFS スタッフ5人  
村川 公子



アフタースクールPFSでは、  
子どもたちにとって安心できる居場所の  
提供を目指し5人のスタッフで支援をしております。  
その中でスタッフ全員が「一枚岩」となり、子ども  
たちが発信する小さなサインをキャッチすることで、  
子どもたちのことを理解し寄り添うこと、その上で秘めら  
れた可能性をたくさん発見し伸ばすことを大切にしています。  
また、当事業では笑顔あふれる居場所にするため、  
スタッフ自身の幸せにも目を向け、その笑顔を子ども  
たちに拡散できるよう、常に精進・研鑽をしつつ、  
「毎日が一本勝負!!」という気持ちで日々  
子どもたちと関わっております。



# BRIGHT FUTURE

## 10周年の感謝

ある中学生に英語を教える機会がありました。その日の内容は「時制」。  
そして、未来形の問題を差し出された時、私は彼にこう伝えました。  
「英語に未来形はないんだ。もちろん、未来を表すための表現はたくさんある。  
でも、それはすべて自分の意志や未来への想像などをやるものなんだ」と。少なくとも私はそう認識して表現している。

私たちの団体の理念である「すべては一人ひとりの未来のために」。  
この言葉には、人生において未来は自分の意志で選択し、歩いていくものだという願いが込められています。  
「英語には未来形はない」という考えが、私にとってはとても自然でじっくりくる。  
愛知PFS協会も、設立から10年を超え、11年目を迎えることができました。  
10年以上前、私たちは小さな一歩からスタートしました。  
未来のことは誰にもわかりませんが、私たちの意志で選択し、精一杯やってきた結果が今ここにあります。

これからも、私たちは未来に向けて歩み続けます。  
なぜなら、未来は私たち一人ひとりが選ぶものであり、その道を歩むための力を持っていると信じているからです。  
何よりもこの10年間で得た最大の宝物は、支えてくださってきた皆さんとの信頼関係です。  
私たちが信じ、共に歩んでくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。  
この10周年はあくまで通過点に過ぎません。これからも私たちは、新しい挑戦に果敢に取り組み、さらなる成長を目指してまいります。  
皆さまと共に、これからの10年も素晴らしいものにしていきたいと考えています。

最後に、改めてこれまでのご支援に感謝し、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。  
これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 愛知PFS協会 代表理事 **星野 智生**

vol.10

コラム

## ご協力・ご支援のお願い

愛知PFS協会の活動は、様々な方のご協力やご支援により、充実した活動支援が行えるようになります。  
当団体の事業には名古屋市からの助成金を受け実施しているものもありますが、Personal Future Support事業等は完全に個人や法人からの寄付金に頼らざるを得ない状況にあります。今後、一人でも多くの子どもたちや、その保護者に対し、サポートが届けられるようみなさまからのご支援、ご協力が必要です。みなさまからの暖かいご支援よろしく願いいたします。

金融機関名

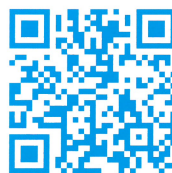
ゆうちょ銀行

口座情報

店番 218 口座番号 9433602



詳しくは↓



## 感想・ご要望

入力フォーム↓



PFS広報誌 (Vol,10) をご覧いただきありがとうございます。

愛知PFS協会では、広報誌のご感想や当団体の活動へのご意見をお待ちしております。  
ご協力の程、よろしくお願いいたします。

# 10周年にあたり 関係機関の皆様からもコメントをいただきました

### 名古屋市子ども青少年局子ども未来企画部 子ども未来企画課・青少年家庭課 様

愛知PFS協会の設立10周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

本市と貴協会は、子ども・若者の支援において、この10年間互いに補完し合い、連携し共に歩んできた関係であると認識しており、貴協会には、「若者自立支援ステップアップ事業」や「家庭訪問型相談支援事業」など本市のさまざまな事業を委託させていただいております。

本市で実施しております「ナゴヤ型若者の就労支援」においては、年間延べ1,700名ほどの困難を有する子ども・若者に対して、自立に向けた支援を行っている状況であり、子ども・若者の相談の主訴には変化がみられるものの、利用者数は例年ほぼ横ばいの傾向となっております。

未だ多くの子ども・若者が自立に向けて困難を有しており、今後もより一層の取り組みが必要ななか、若者の自立支援に向けて、本市と民間団体との連携は不可欠なものと認識しており、お互いの強みを活かし、若者たちの未来への道を切り拓いていきたいと考えております。  
この記念誌が、愛知PFS協会の10年間の歩みを振り返り、未来への展望を描く場となることを祈念しております。



### NPO法人 再非行防止サポートセンター愛知 様

一般社団法人愛知PFS協会の皆様、10周年おめでとうございます。  
NPO法人再非行防止サポートセンター愛知は、いつもお世話になりっぱなしで、心から感謝と尊敬をしています。

これまで一緒に関わらせてもらった子たちを振り返ってみました。名古屋みらい高等学院への入学希望者としてサポートをお願いさせてもらった子たちは13人もいました。男子は10人、女子は3人。その内、少年院に面会に行っていたのは7人、高校卒業資格をGETできたのは6人。高校卒業まで届かなかった子たちにとっても、大切な機会となったと思います。

今年の秋からも1人がお世話になる予定で14人目になります。一貫しておられるのは、サポートの相談をさせてもらって一度も断られたことがないことです。その後も、学校でご迷惑をおかけする事があっても、本人に寄り添っていただけでした。

勉強に自信がなくなり、非行の道に入り、少年院に入っても、もう一度、学び直せる学校があることは、「大きな希望」であり、本人の立ち直りにも効果的であり、結果として被害者を増やさないことに繋がります。

私たちはこれからも、罪を犯した青少年が、学校での学び直しを希望したときには、真っ先に「名古屋みらい高等学院」思い浮かべます。

### 名古屋市区役所民生子ども課 様

区役所の民生子ども課は、家庭訪問型相談支援事業でPFSさんと関わることが多く、日ごろ多くのご家庭を支援していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

事業を通じて感じるのは、スタッフの皆さんが本当に素敵な方ばかりだということです。年代問わず多彩な特技を持つ支援員さんがいらっしゃることで、子どもたち一人ひとりの関心・ニーズに合わせた訪問調整をしてくださっています。

家庭の雰囲気や家族の距離感、子どもの気持ちをくみ取り、子どもや家庭の困りごとに向き合ってくださいるのはもちろんのこと、時には子どもの代弁者となり、保護者担当の支援員さんを派遣することで親子関係の調整を行っていただくケースも少なくありません。区役所職員では聞くことができない子どもの本音に、まさに「よりよい」ながら支援をさせていただきます。

また、困難ケースにも粘り強く向き合ってくださいます。親子関係不調の世帯に支援を導入しましたが、なかなか保護者の理解を得られないことがありました。保護者を繰り返し説得し、子どもの反応に合わせたきめ細い支援により、最終的にはうまく支援がなりました。このケースは家庭の都合で他区へ転居しましたが、転居後も訪問支援員さんが変わらず支援をしてくださっています。行政の狭間を埋め、居住区が変わっても切れ目のない支援をしていただけるのはPFSさんの大きな強みのひとつであると感じています。

閉ざされてしまった子どもの気持ちに根気強くかわり、愛情を持ってよりそってくださいスタッフのみなさんの姿勢は、同じ「子どもの支援者」である私たちにとっても支えになっています。そして時には、支援について相談できる心強い存在でもあります。

少しでも多くの子どもの悩みや不安を軽減できるよう、今後もPFSさんのお力を借りながら、子どもたちや子育て家庭の支援に取り組んでいけたらと思っています。これからもよろしくお願いいたします！

今後ともよろしくお願いいたします！





# PFS Student Aid Project

さまざまな理由で、  
高校進学を諦めてしまう子ども達に  
学びの機会を...

<https://aichi-pfs.org/donation/>  
ご寄付はこちらから→



「本当はやりたいことがあるんだ。  
でも…諦めるしかない。」

学校基本調査によると、高校への進学率は98.8%(2020年度)  
その一方で進学を諦めてしまう子どもがいる。  
理由は様々だ。

「貧乏だから」「頭悪いから」「素行悪いし」

前向きな理由で高校を選択しないのであればカッコいい。  
「やりたいことあるから高校は行かない。」

しかし、

「本当はやりたいことがあるんだ。でも…諦めるしかない。」  
そんな言葉を子どもから聞くのは本当につらい。

「俺でも学校行けたんだ。」

「このみんなに出会えたから、私は卒業できたんだと思う。」

「最後まで見捨てないでくれてありがとう。」

「今からみんな遊びに行ってくるわ。」

卒業を迎えた子ども達からの何気ない言葉。

ここで過ごした時間が、前を向いて歩んで行ける力になれば嬉しい。

私たちはそんな子ども達のために「学費援助制度」を設けています。

世帯年収の状況や子ども達の生活の実態に合わせて、

学費の一部を当団体が負担することで、

子ども達が教育を受ける権利を守り続けていこうという取り組みです。  
この補助金は一人ひとりのご支援から成り立っています。

みなさまのご寄付は、子ども達の未来の大きな一歩へと繋がります。